

東京大学低温センター

低温センター・ニュース

TEL. 2851,2852(事務室), 2853(技官室)

○液体ヘリウムの供給停止のお知らせ

高圧ガス保安法に基づく定期保安検査が8月19日(火)に行われます。これに伴い、下記の期間液体ヘリウムの供給を停止します。

供給停止期間：8月4日(月)～8月19日(火)

8月1日(金)までは平常通りの供給です。

供給開始は8月20日(水)からです。

なお、液体窒素の供給は平常通り行います。

○液体ヘリウム供給申し込み方法のご案内

液体ヘリウムの供給申込み受付は次の方法で行っています。

1. 電子メール ([heorder\[at\]crc.u-tokyo.ac.jp](mailto:heorder@crc.u-tokyo.ac.jp)) による受付。
2. FAX. (3815-8389) による受付。
3. 『液体ヘリウム使用申込書』による受付。

できるだけ《1. 電子メール》の申込みでお願いします。

書式等は低温センター・ホームページをご参照下さい。

いづれも必要事項(所属、連絡先、申込者、数量、使用日、集配場所)を記載の上、申込み期日をお守りの上、お申し込み下さい。

詳しくは技官室(内線2853)までお問い合わせ下さい。

※※寒剤の料金について※※

平成9年度の寒剤(液体窒素、液体ヘリウム)供給価格は、低温センター・ニュース6月号(No.198)でお知らせした通りです。

* 液体窒素は前年度と比較して一律2円引き上げました。消費税に伴う引き上げです。

* 液体ヘリウムに関しては20円の引き下げが出来ました。ガス損失に伴うガス購入量が見込みより少なかったこと及び供給量が約20%も伸びたことを反映したものです。液体ヘリウムの供給価格は、その製造及び供給にかかる経費とガス損失分の補充経費によって決定されます。ガス損失の減少はそのまま供給価格に跳ね返る仕組みになっています。

月毎に示されるヘリウムガス回収率の動向に注意し、回収率の向上にご協力下さい。

○ヘリウムガス回収率

平成9年 6月分 (単位は全て立方dm)

	6/2在庫	7/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	230.4	285.3	560.7	363.4	142.0	71.8
工サブ	330.5	542.5	2643.2	1837.4	594.0	75.6
生化NMR	99.7	118.7	63.0	37.0	7.0	84.2
農学NMR	118.6	140.5	86.8	96.1	-31.0	---
総合試験所	134.9	269.5	935.9	444.4	353.0	56.0
システム量子	12.6	1.4	0	3.2	8.0	28.7
備考	回収量 ☆回収率 = (供給量+6/2在庫)-(7/1在庫) ☆回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					

☆センターニュースに関するお問い合わせは、内線2853まで☆